

令和5年度第3学期始業式

1年間のしめくりとなる3学期が始まりました。今年もよろしく申し上げます。今年のスタートは能登半島での大地震や羽田空港での大事故といった心の痛むニュースが続きました。毎日を当たり前に過ごすことができることに感謝し、被災地にも早く日常が戻ることを願うばかりです。

さて、先ほど2年生の〇〇さんから、3学期にがんばりたいことの発表がありました。時計を見て行動すること、算数の勉強、ジャンプロ大会の3つを挙げてくれましたが、どれもこれまでの反省をふまえた目標となっていて素晴らしいです。みなさんも目標をもって新学期を迎えていると思います。

子・丑・寅・卯・・・戌・亥、今年辰年です。平成24（2012）年生まれの皆さんは今年12歳になる辰年生まれですね。

十二支中の5番目の干支である辰は、十二支中ただ1つ、実際にはいない、空想上の動物です。みなさんにとっては、「竜」とか「ドラゴン」の方がなじみ深いかもしれません。

「竜」はヨーロッパでは暗黒の化身として悪役になることもありますが、日本や中国では神聖な動物です。

「竜」が使われている言葉に「画竜点睛」があります。

「画竜」は「竜の絵」、「睛」は瞳、「点睛」で「瞳を点じる（描き入れる）こと」です。

1500年くらい前の大昔、中国のお話です。ある絵師がお寺の壁に竜の絵を描いていました。その竜は今にも天に昇っていきそうな勢いで、とても素晴らしい絵だったのですが、なぜか竜の瞳が描かれていませんでした。なぜ瞳を描かないのかと絵師に聞くと「瞳を入れると飛び去るからだ」と言いました。でも、人々はそれを信じようとしませんでした。そこで仕方なく、竜の瞳を描き入れてみせると、竜は雲に乗ってたちまち天に昇っていったというお話です。

「画竜点睛」というのは、物事を完成させるために必要な最後の仕上げを言います。3学期は、学年のまとめと仕上げをする大切な時期です。

最後の仕上げをしっかりと、竜が飛び立っていったように、6年生は中学生に向かって、1～5年生は次の学年に向かって、飛躍の年にしていきたいですね。